川越市体協だより
第23号

理事会報告

■第三回理事会
（十二月十四日）

市役所において、第三回理事会が開催されました。

《報告事項》

一　事務局より

①　第十三回川越市生涯スポーツフェスティバル

②　小江戸川越マラソン２０１６

二　各専門委員会より

組織・指導・広報・記念の各委員長より、活動状況報告

《協議事項》

一　平成二十九年川越市体育関係者賀詞交歓会について

今年度は、川越市成人式が一月八日（日）に実施されることにより、本年は、一月九日（祝）に行うことになりました。

二　平成二十八年度川越市体育功労者及び優秀選手の推薦について

今年度は、七団体より推薦がありました。これらの方々は、皆立派なご功績をあげていらっしゃいますが、推薦規定により、

「北川正一様・野球連盟」

「笹田裕様・柔道連盟」

「阿久津廣様・弓道連盟」

「野竹巧様・クレー射撃協会」

の四名を体育功労者として推薦することを決定いたしました。

優秀選手については、各団体から提出された推薦者につき確認作業を経て二百二十一名を選考しました。

埼玉県体育賞については、岩澤嗣夫川越市体育協会副理事長（スケート連盟）を推薦することとなりました。

三　平成二十九年度事業計画案について

特に七十周年記念事業も含め事業計画案の日程、内容等について提案がありました。提案に基づき、来年度に向けた活動内容を検討した結果、提案のとおり事業計画が、決定致しました

委員会活動報告

■組織委員会　委員長　大塚賢一

第二回理事会で依頼しました障害者の方々への取り組み状況について、各団体からの回答をまとめました。現在、取り組みを行っている団体は、五団体で、試合や体験コーナー、コーチ補助、派遣を行っている状況です。今後は、障害者の方々に対する取り組みを徐々に行っていきたいと考えていますので、各団体の皆様にはご協力を頂きたいと思います。

■指導委員会　委員長　伊藤博義

十月二十日に第三回委員会を開催し、スポーツ講演会の開演時間や講演会当日の役割分担を決定しました。講演会は、オリンピック大会室と共同開催で、講師に宮下純一（スポーツキャスター、北京オリンピック競泳メダリスト）を招くことで決定致しました。

■広報委員会　委員長　牧野保代

十月三十一日に第二回委員会を開催し、スポーツ川越三十七号の発行に向けて内容を検討し、一月に無事発行いたしました。多くの方から好評をいただき、今後とも皆様のご意見を反映させるよう、取り組んでまいります。

■七十周年記念事業実行委員会
委員長　牧野保代

体育協会設立七十周年の記念品として、各団体役員用にポロシャツを作成します。第七十回市民体育祭総合開会式の際に、役員の方々は着用をお願いします。

七十周年記念事業活動では、啓発活動として、市民の方々に配布するポケットティッシュの配布日が決定しました。配布する際にも、記念品のポロシャツを着用するようご協力をお願いします。

第十三回川越市生涯スポーツフェスティバル

平成二十八年十一月三日（祝）

川越総合運動公園を会場として「第十三回川越市生涯スポーツフェスティバル（愛称生涯スポーツフェスタ２０１６）」が二千五百九十四名の参加をいただき盛大に開催することができました。

子どもから大人まで市民の誰もが気軽にスポーツを体験し、心身の健康増進と市民相互の交流を図ることが目的で「ウォーキング」（一般、親子計五百八十二名）「綱引き」（小・中学生・一般計八十四チーム九百二十九名）「ふれあいコーナー」（延べ六千百五十三名）の大勢の方が意欲的に参加していただき、無事に終了することができました。

スポーツ指導者養成講習会本部事業

平成二十八年十一月二十三日（祝）

○会場　ウエスタ川越

○人数　二十六名

川越北消防署消防職員を講師に招き、普通救命講習会を実施しました。

今回は、小児・乳児を対象とした講習会で、参加者全員が、講師の方々の説明を真剣に聞き、ＡＥＤを使用しての講習会を受けました。

質疑応答の際には、参加者の多くが講師の方々へ積極的に質問し、とても有意義な講習会となりました。

体育関係者賀詞交歓会

平成二十九年一月九日(祝)

○会場　氷川会館・初雁の間

○人数　三百二十五名

川合善明市長、河野哲夫会長、小ノ澤哲也市議会議長、新保正俊教育長による鏡開きで宴が幕を明けました。

後半は幹事団体である弓道連盟の司会のもと、賀詞交歓会は大いに賑わって閉会となりました。

参加いただきました各団体の皆様には、この場をお借りして、御礼申し上げます。

体育功労者並びに優秀選手表彰式

平成二十九年二月二十六日(日)

○会場　やまぶき会館

○受賞者　体育功労者四名

・北川正一様（野球連盟）

・笹田裕様（柔道連盟）

・阿久津廣様（弓道連盟）

・野竹巧様（クレー射撃協会）

○受賞者

優秀選手二百二十一名

野球の部（一名）

バレーボールの部（十五名）

サッカーの部（四名）

柔道の部（一名）

剣道の部（二名）

空手道の部（十四名）

陸上競技の部（二十七名）

水泳の部（二名）

スケートの部（十三名）

体操の部（一名）

少林寺拳法の部（二十四名）

ソフトボールの部（三名）

硬式テニスの部（五名）

ラグビーフットボールの部（二十二名）

ゴルフの部（一名）

自転車競技の部（七名）

山岳の部（三名）

パワーリフティングの部（十名）

合気道の部（一名）

ドッジボールの部（六十五名）

体育功労者の表彰、優秀選手が読み上げられ、各競技種目代表者に賞状と楯が授与されました。受賞者の皆様おめでとうございました。

スポーツ講演会

平成二十九年二月二十六日(日)

○会場　やまぶき会館

講師に宮下純一氏を招き、「出会いに感謝～思い続けたオリンピック～」をテーマに講演会を開催しました。

当日は、三百六十名の参加者が集まり、会場は大いに盛り上がりました。

また、川越市体育協会指導委員会の委員が受付や会場案内等を担当し、講演会の実施に協力しました。

宮下氏は、幼稚園の頃は、水が大嫌いで、水嫌いを克服するために水泳を始めたそうです。また、中学生の頃は、練習が嫌いで友達と遊びたい時期があったことを告白しておりました。

オリンピック出場という夢を叶えるために、「夢を明確に設定する。人との出会いを大切にする。自分の気持ちや意志を大切にする。」の内容をエピソードを交えて講演してくださいました。

編集後記

本年度の最終号（二十三号）をお届けします。年三回（スポーツ川越含）の発行を二班に分担して作成しました。委員の方々には、各号の発行にあたり編集や校正のため何度も足を運んで頂き、一年間ご協力ありがとうございました。

発行　川越市体育協会